

平成 29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」
事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 千葉県 】

| | |
|---------------|--|
| 1 実践テーマ | 【 I II III 】 |
| 2 実施対象者 | <p>学校名 山武市立松尾小学校</p> <p>対象学年 全校</p> <p>人数 218名</p> |
| 3 展開の形式 | <p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名 (体育、総合、特活)</p> <p>② 行事名 ()</p> <p>③ その他 (委員会活動、課外活動)</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>1 イベント名 ()</p> <p>2 その他 ()</p> |
| 4 目標 (ねらい) | ボランティア精神や温かいおもてなしの心を育てるとともに、障害者や高齢者への理解を深める。 |
| 5 取組内容 | <p>(1)おもてなしプロジェクト</p> <p>① 花いっぱい運動</p> <p>校内では、季節に応じ、それぞれの学年が草花を育てたり、花壇に花を植えたりした。また、作成したオリパラ教育推進のステッカーをプランターに貼り、学校周辺の公共施設や店舗に配った。町探検等でお世話になっている店舗なども多く、大変喜んでいただくことができた。</p> <p>② あいさつ運動</p> <p>生活委員会を中心に、校内及び学校周辺で朝のあいさつ運動を行った。自分から進んで元気のいいあいさつができる児童が増えてきた。</p> |



③ マスコットキャラクターの募集・活用

子どもたちから「松尾小学校オリパラ教育」の本校独自のマスコットキャラクターを募集し、応募の中から投票により決定した。①②のいずれも活動のシンボルとして、マスコットキャラクターをステッカーやビブスにプリントして使用することで、主体的な活動への意欲を高めた。

(2)心のバリアフリープロジェクト

①福祉体験学習

障害者や高齢者への理解を深めるため、社会福祉協議会の方々にご協力いただき、総合的な学習の時間として、福祉体験学習を行った。3・4年生では、目や耳に障害のある方を講師に招いて、話を聞いたり、点字や手話を教えてもらったりした。

また、5年生は、車椅子体験や高齢者疑似体験を実施した。



②スポーツ義足体験

LIXIL 主催の「スポーツ義足体験授業」を5・6年生が行った。リオオリンピック銅メダリストの佐藤圭太選手（トヨタ自動車所属）がゲストとして参加してくださり、子どもたちの意欲も高まった。

まず、5・6年生それぞれが義足体験を行った。スタッフの方や佐藤選手に補助してもらいながら、全員がスポーツ義足の体験を行うことができた。体験後に、5・6年生合同での座学を行い、義足の種類や使い分け、義足をとおした障害などについて考えた。義足を使う選手の生の声を聞くことができたことで、より深く考えることができた。



6 主な成果

日頃行っていた学習活動の中に、オリンピック・パラリンピックについて考える要素を加えたことで、おもてなしの心の育成や障害者への理解をより深めることができた。

| | |
|--------------------------|--|
| 7 実践において工夫した点 (事業の特色) | <ul style="list-style-type: none"> ・本校独自のオリパラ教育マスコットキャラクターの作成・使用などをおして児童の意欲を高め、主体的に活動できるようにした。 ・これまでも実施していた福祉体験学習に、障害に関連したパラリンピック種目の学習を取り入れることで、うまくオリパラ教育との関連を図ることができるようにした。 |
| 8 主な課題等 | <p>講師を招いての体験学習は、日程調整や事前の相談・連絡などに時間がかかってしまうことがある。各学年の負担を少なく、実施できるようにする必要がある。</p> |
| 9 来年度以降の実施予定 | <p>花いっぱい運動やあいさつ運動、福祉体験学習等は、今後も継続していく予定である。</p> |